








# 問い合わせ報告書

令和2年9月17日記入

決裁	部長		次長		課長		課長補佐		係長		係		
日時	令和2年9月17日(木)							会議名	-----				
場所	-----							記録者	山田				
問合先	横浜市水道局 給水サービス部 給水維持課 佐川氏										資料	-----	
目的	「核磁気共鳴 (NMR) 工法による口径 50 mm配水管における残留塩素減少防止効果の検証」報告書 (以下、報告書) の内容確認について												
内容	<p>1. 報告書の内容確認について</p> <p>9月17日に横浜市水道局担当者と電話をし、報告書の内容について以下のことが確認できた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・検証した配管が硬質塩化ビニルライニング鋼管であったことから錆の発生量が元々少なく、腐食箇所は主に継ぎ手部分のみであったため、「残留塩素」及び「鉄分値」に与える影響が少なかった。</li> <li>・NMRパイプテクターのパフォーマンス (効果) を評価したものではない。</li> </ul>												